

ひかりが丘住宅線・ 生駒ニュータウン線 三者協議

第4回

令和5年7月6日(木)18:40～

場所:あすか野自治会館

前回協議での意見と役割分担(案)

前回協議での意見

- 実態やニーズを踏まえた路線改善の可能性について
 - どのような時に誰が使っているかを把握することが必要。
 - 現在の路線が長く、様々な目的の利用者が混在。利用者層、目的にあったルート、ダイヤにすると運行コストを低減できるのではないか。
 - あすかのセンターから白庭台駅の利用が少ない。鉄道との接続がよくないことも一因であると考えられる。

- 行政の補助の考え方について
 - あすかの団地口は公共交通の空白地になる。
 - バス事業単体で採算をとるのは難しい。公共交通が提供されることにより人口が増加し税収が増えているのではないか。多角的な評価とそれに見合った予算配分が必要だと思う。

- 利用促進に取り組みについて
 - 自治会でバス回数券を販売する。
 - 見守り活動をしているボランティアへの謝礼をバス回数券にする。
 - 公共交通ネットワークは広がっているので、市全体としての利用促進も重要である。
 - 長期的に若者(通勤通学利用者)を呼び込む。

3者協議と地域公共交通会議の役割分担

- 地域の利用実態や不便に感じることは地域住民が熟知している。
- バスの運行ルート、ダイヤなどはバス事業者が様々な条件の中で設定している。

(3者協議)

- たとえば、改善要望をとりまとめ、地域公共交通会議に提案。
- ### (地域公共交通会議)
- バス事業者中心に運行形態の見直し案の検討を進める。

- 公共交通についての予算確保や、その配分については、全市的に議論が必要。

(地域公共交通会議)

- 全市的に議論を進める。

- 地域の利用促進は地域住民が中心に取り組める。
- 市全体のことや長期的な取組は、全市的に議論が必要。

(3者協議)

- たとえば、地域でできる利用促進策を検討。
- ### (地域公共交通会議)
- 市全体の取組や長期的な取組を検討。

活性化
協議会

見直し案の提示

分科会から出された案の議決及び助言
利用促進活動への助言等

分科会

- 三者協議で集約された地元意見・ニーズを踏まえ、収支均衡や収支改善に向けた、各路線の運行形態の見直し案の検討(ルート、ダイヤ等)
- 路線バスの利用ができなくなる地区等の代替手段を検討
- 行政主導の利用促進策、中長期的な利用促進策を検討
- 路線毎の見直し案を取りまとめ

--分科会構成委員--

学識経験者、自治連合会、市民
奈良交通(株)、生駒市(順不同)

交通事業者の実情を踏
まえつつ、必要な公共交
通サービスの地元意見や
ニーズを提示

収支均衡や収支改善に向けた
各路線の運行形態の見直し案
を提示

三者協議
<富雄庄田線>

三者協議
<北田原線>

三者協議
<ひかりが丘住宅線
・生駒NT線>

- 現在の、路線の利用状況や収支状況を把握し、目標を共有する
- バスの運行に係る費用、バス利用実態、ニーズ等を踏まえ、今後の路線のあり方を住民と協働で話し合う
- 路線の利用促進に向けて、住民ができることを話し合い、出来るところから地域主体で利用促進活動を実行する
- 路線の利用促進に向けて、行政が支援できることを提案する

※路線沿線毎に設置。

富雄庄田線沿線と北田原線沿線の三者協議は未設置(調整中)。

3者協議 今後の予定

R5

第3回
5/31
3者の立場の理解
今後想定されるシナリオの共有

第4回
7/6
利用促進 取組みの検討 **本日**

取組みの試行

連携

市
奈良交通

第5回
9月
試行の状況報告・共有
中間検証

情報共有
(適宜)

分科会

第6回
10月
今後の取組み方についての検討
取組みの改善検討

活性化
協議会

第7回
12月
今後の進め方について意見交換
試行の継続 or 方向の転換

活性化
協議会

取組みの試行

適宜、3者協議の開催

R6~

取組みの試行

適宜、3者協議の開催

R6
10月頃

対応策(素案)の決定

活性化
協議会

交通事業との調整

12月頃

対応策の最終決定

新たな運行に向けた準備

R7
4月

新たな運行

前提条件の確認

現状での運行期限

令和7年3月 (R6. 3月の期限から1年間延長)

目標人数

25.6人/便 (R4年度実績 19.5人/便)

↳ あと6.1人/便

前提条件の確認

目標人数

年間不足人数226,665人÷沿線人口〇〇〇人
=人口当たり〇〇回/年

あすか野住民の利用で考えてみると 4,511人(R5.3.31時点)

※小学生は0.5人として計算

- ・ 一人が56.3回/年、4.6回/月乗れば目標値(小学生以上で試算)

バス需要の特に多い自治会(あすか野、西白庭台、ひかりが丘)の利用で考えてみると

- ・ 一人が29.7回/年、2.4回/月乗れば目標値(小学生以上で試算)

沿線自治会(今回参加のあすか野、白庭台、辻町、北田原町)の利用で考えてみると

- ・ 一人が15.6回/年、1.3回/月乗れば目標値(小学生以上で試算)



地域ごとの人口は
オープンデータで
公表されています

住民による 取り組み 事例



【利用促進】 自治会による乗車券販売

- 長野県上田市の町内会では、鉄道路線の存続のため、通常よりも割引率の高い回数券を**自治会を通じて住民に購入の依頼を行っている。**
- 路線の年間収入の約1割が自治会による売上となり、路線継続に欠かせない収入源となった。
- 自治体は広報誌への掲載や回覧の実施など広報支援を行っている。



【利用促進】 共通乗車券の販売と買い物客への進呈

- 富山県高岡市では路線存続に向けて、**地元商店街組合と商店らが協力し、
買い物客への乗車券進呈**の取り組みを行った。
- 現在では交通事業者が乗車券進呈サービスを公式に取り入れている。



共通乗車サービス券
加盟店ステッカー

【利用促進】 住民（町内会）によるイベント開催

- 長野県上田市では、**住民(町内会)**らが路線の利用促進を目的に定期的な**イベントを実施**している。
- イベントの参加費に乗車券が組み込まれており、イベント内容も路線と関連したものにすることで利用促進を実現している。
- 自治体はHPや広報誌での情報提供、観光ポスターへの写真掲載などの面で協力を行っている。



別所線沿線
写真撮影会
写真加工講座
写真コンテスト
のご案内

【運行経費の負担】 住民が回数券を自主的に購入

- 青森県鯉ヶ沢町では路線バスの存続のため、住民が回数券を購入するほか、**運行費用の一部を負担(2千円/月・約60世帯)**している。



写真：国土交通省資料

【運行経費の負担】 市民・企業よりサポーターを募る

- 栃木県佐野市では**協議会**がコミュニティバスの活性化のため、バス・エコサポーターズを発足し、**会員費を集める**ことで存続のための費用を賄っている。

【年会費の内訳】

個人会員	:5,000円
子ども会員	:3,000円
法人会員	:10,000円

【会員特典】

乗車券の割引など

【利用しやすさを高めるための実態調査】 自治会による利用者アンケートの実施

- 山口県防府市の玉祖自治会では、デマンドタクシーの再編にあたり、地域住民を対象としたアンケートのほかに**利用者を対象とした詳細アンケート**を実施。
- アンケートでは利用回数や乗り継ぎの有無、利用意向など**再編の検討につながる情報を収集**。

	項目	内容
利用者アンケート	調査対象	1月末時点で玉祖デマンドタクシーを利用したことがある人
	調査期間	2月7日（金）～ 2月21日（金）
	調査方法	郵送にて配付し、自治会班長等に提出
	調査内容	<ul style="list-style-type: none">・ 属性・ 利用回数・ 玉祖デマンドタクシーがなかったときの移動手段・ 満足度・改善点・ 路線バス、タクシーとの乗り継ぎ利用の有無・ 今後の利用意向・ 自由意見

【利用促進】 コミュニティバス鹿ノ台線の買い物補助券

- いきいきホール前(停留所)を利用された方に買い物補助券をプレゼント
- 10枚たまると500円の買い物券と交換
- 自治会がスーパーいそかわに直接協力の呼びかけにより実現
- 補助券の金額はいそかわ様負担
- 実施後、最寄り停留所の利用者
→ **48%増** (利用者1日平均3.9人)

回覧 2022年12月吉日

鹿ノ台コミバスニュース No.3

**「スーパーいそかわ」協賛
コミバスに乗って、いそかわの
買い物券をゲットしよう!**

キャンペーン期間中にコミバスを利用して、「いきいきホール前」で10回乗り降りすると、「いそかわ」から提供いただいた500円買い物券をゲットできます!

★ 買い物補助券:
「いきいきホール前」で乗り降りする際に、1回につき1枚買い物補助券をバスの運転手がお渡しします。

★ 買い物券の提供:
買い物補助券が10枚貯まると、いそかわの店頭で500円の買い物券と交換します。

★ キャンペーン期間: 2022年12月26日(月)~2023年3月31日(金)
★ 買い物券有効期間: 2023年1月4日(水)~2023年4月30日(日)



鹿ノ台自治連合会・鹿ノ台コミバス委員会
協賛 いそかわ イト-ピア店

掲示 2023年6月1日

鹿ノ台コミバスニュース No.9

**「スーパーいそかわ」協賛キャンペーンは
5月末で終了しました**

ご好評いただきました「スーパーいそかわ」協賛のキャンペーンは5月末をもって終了しました。

★ 買い物券との交換期限:
2023年6月30日(金)まで

※お手元の買い物補助券10枚でいそかわ500円の買い物券と交換できます。
お早めに交換を済ませていただきますようお願いいたします。



鹿ノ台自治連合会・鹿ノ台コミバス委員会
協賛 いそかわ イト-ピア店

ワーク シート の使い方

公共交通をよりよくする
ために



ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線をよりよくするために地域の住民で取り組めることを考えよう

【留意点】

対象が広すぎると、相手のニーズが捉えきれず、効果的な取り組みを検討できないため、

具体的に利用促進を図りたい身近な人を想定する。

【これまでの話し合いで出されたターゲット】

- ・生駒駅に買い物に行きたい高齢者
- ・通勤で生駒駅・白庭台を利用される方
- ・自転車で移動する学生
- ・駅周辺で飲食をされる方

など現在バス以外で移動される方

地域の住民 で取り組 めること

【ワークシートの記入の仕方】

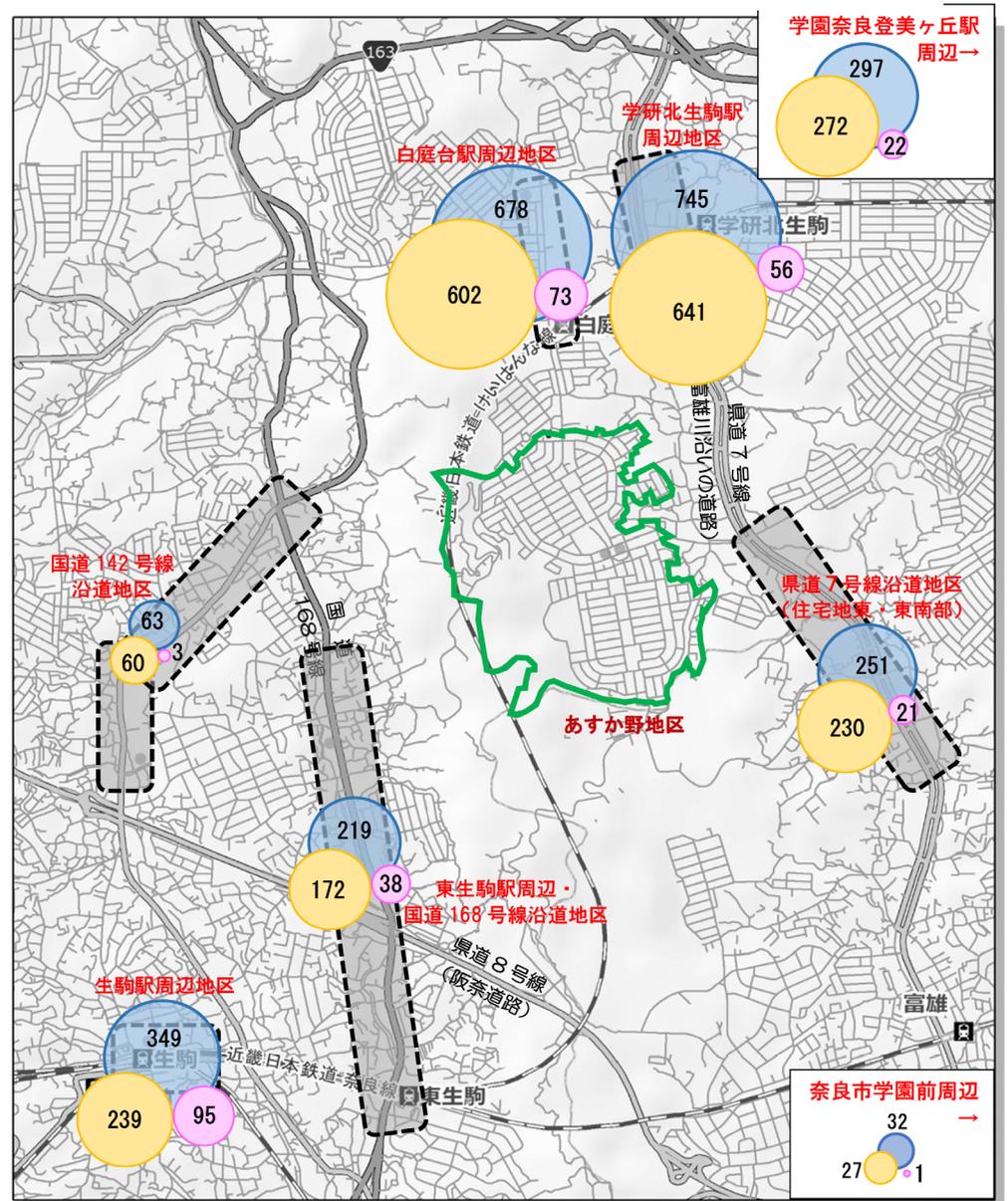
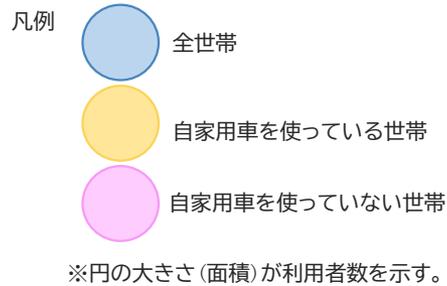
ワークシート	①	検討するターゲットを具体的に記載
ターゲット（具体的に）		
地域の住民で取り組めること	②	上記のターゲットの利用促進に関して住民で取り込めることを話し合う
行政の協力が必要な事	③	②で話し合った内容に、行政、事業者の協力が必要な内容を記載する
事業者の協力が必要な事		
7月・8月に取り組むこと（取り組めること）	④	どのように取り組んでいくかを記載する

図表7-3 「生鮮食品」の買い物先の地区（最もよく利用する+次によく利用する店舗）

最も利用する店舗

N=1,426

近商ストア 白庭台店	29%
オークワ 生駒上町店	26%
ラムー 奈良二名店	7%
イオンモール 奈良登美ヶ丘	6%
近鉄百貨店 生駒駅	5%
いそかわ 新生駒店	5%



マップ出典：公共地図（Esri Japan）



出展：あすか野地区における生活環境に関するアンケート調査
令和2年3月報告書
国土交通省国土技術政策総合研究所・あすか野自治会

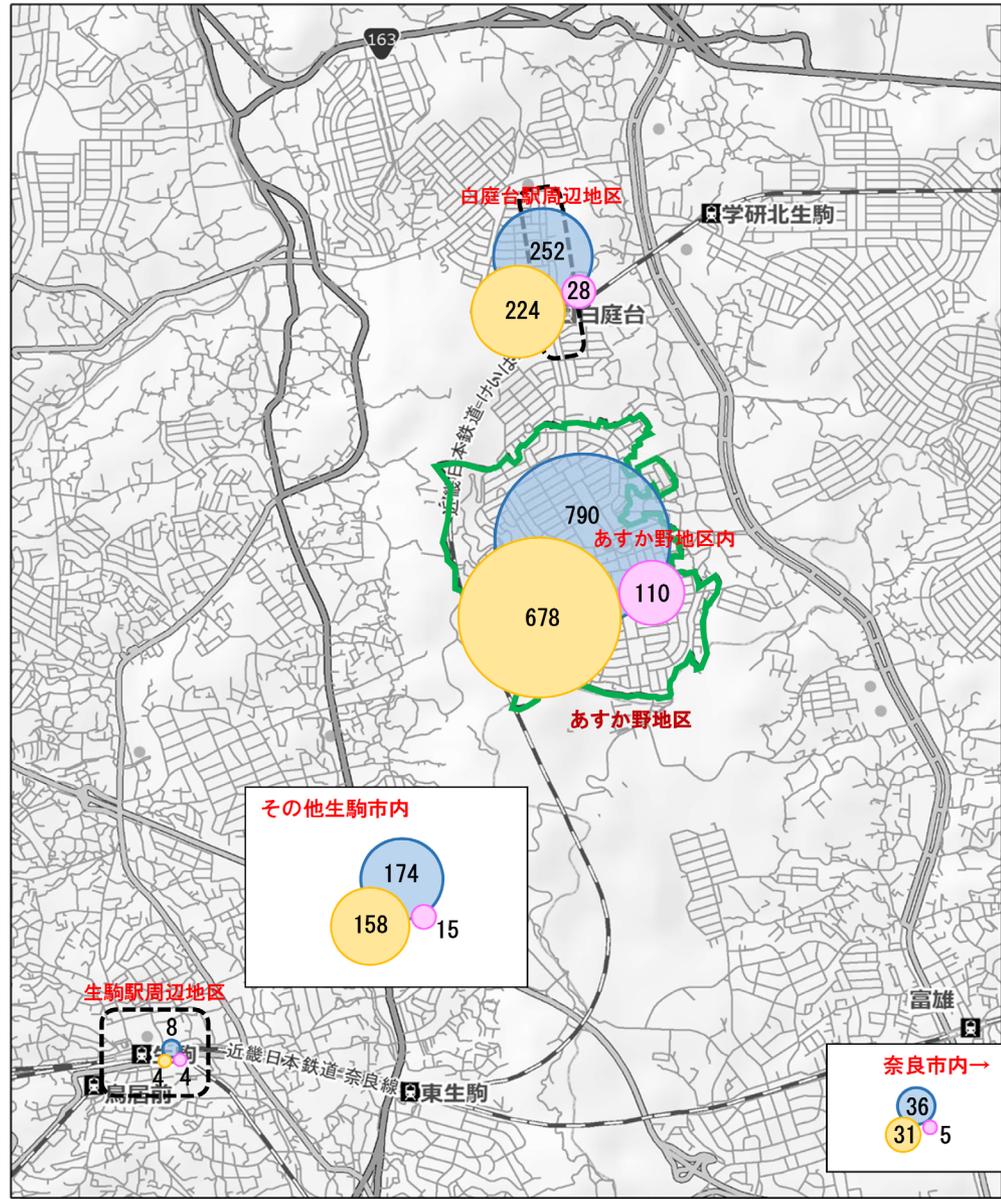
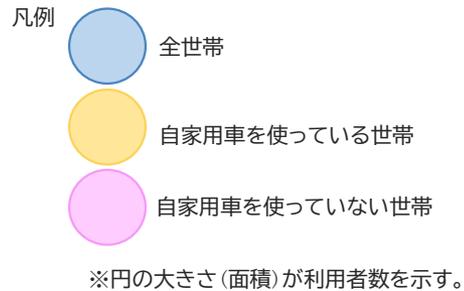
至 学園奈良登美ヶ丘

図表14-2 最もよく利用する「内科・診療所」の立地する地区

最も利用する医療施設

複数回答

白庭病院	980
いわもとクリニック	444
大塚医院	371
越智歯科医院	331
近大奈良病院	246
木原歯科医院	181



マップ出典：公共地図 (Esri Japan)

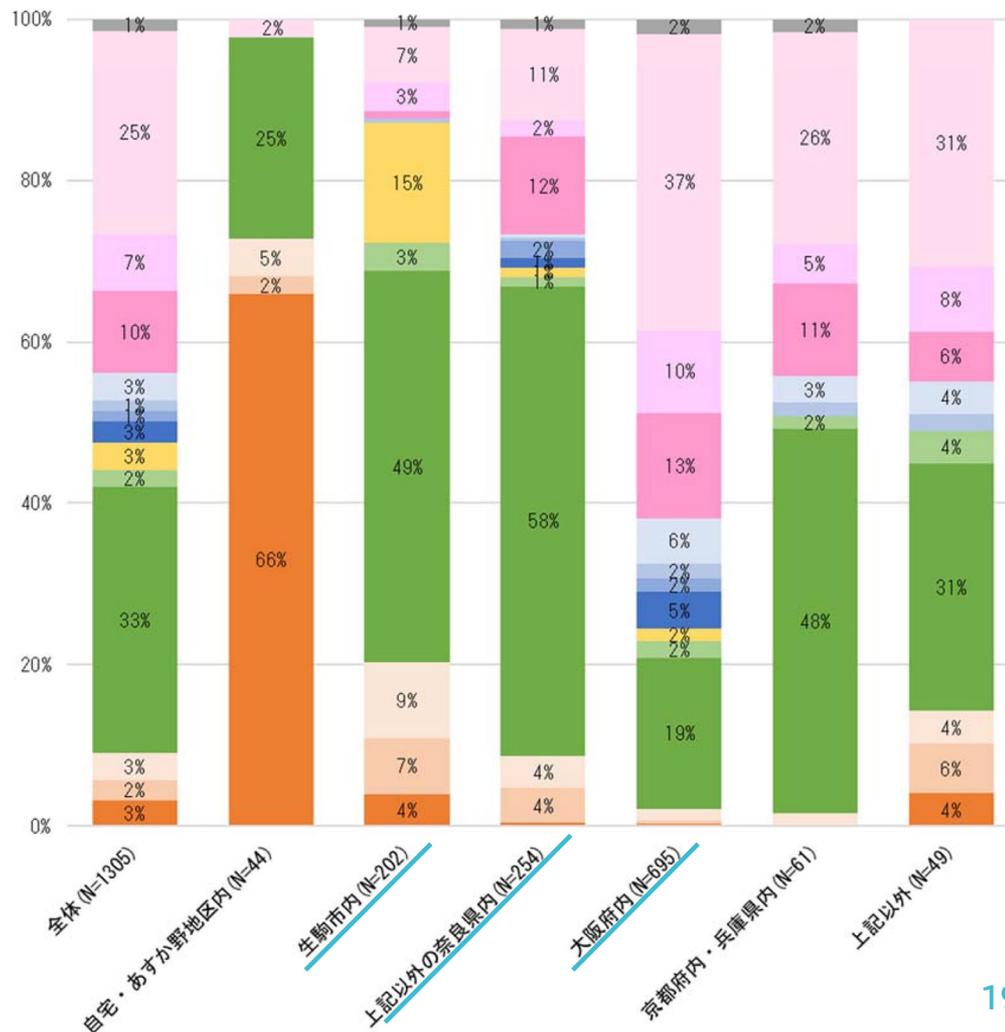


出展：あすか野地区における生活環境に関するアンケート調査
令和2年3月報告書
国土交通省国土技術政策総合研究所・あすか野自治会

大阪府内	52%
奈良県内(生駒市外)	19%
生駒市内	15%
自宅又はあすか野地区内	5%



図表20-3 就業地別の通勤手段



出展:あすか野地区における生活環境に関するアンケート調査
 令和2年3月報告書
 国土交通省国土技術政策総合研究所・あすか野自治会

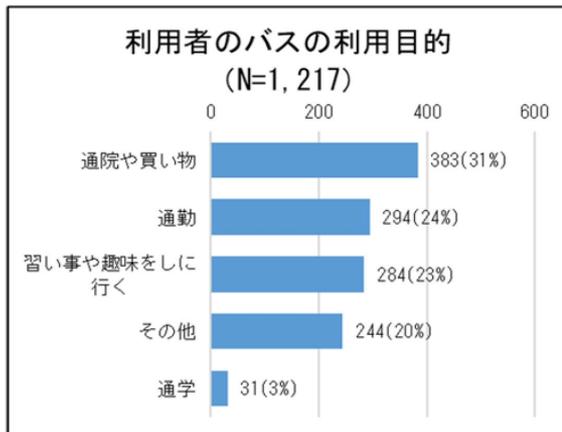
図表28-1 免許保有と日常的な利用状況

世帯		世帯数
運転免許を保有する世帯		1,330 (91%)
	日常的に運転する世帯	1,291 (88%)
	日常的に運転しない世帯	33 (2%)
運転免許を保有しない世帯		137 (9%)

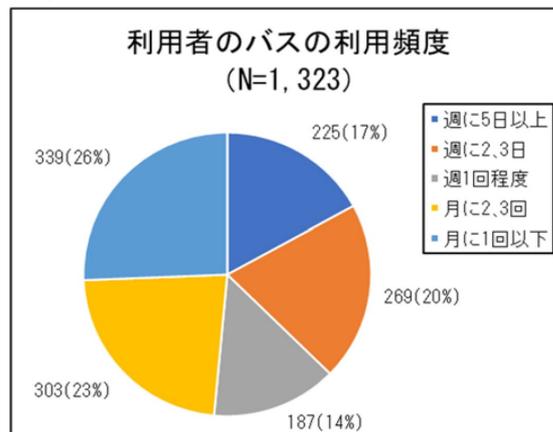
N=1,467

公共バスの利用状況と評価

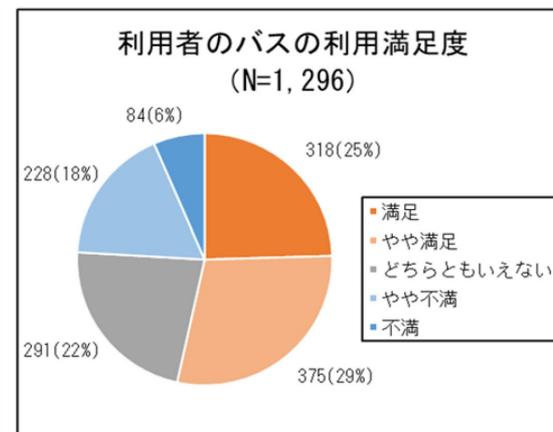
図表 32-1



図表 32-2

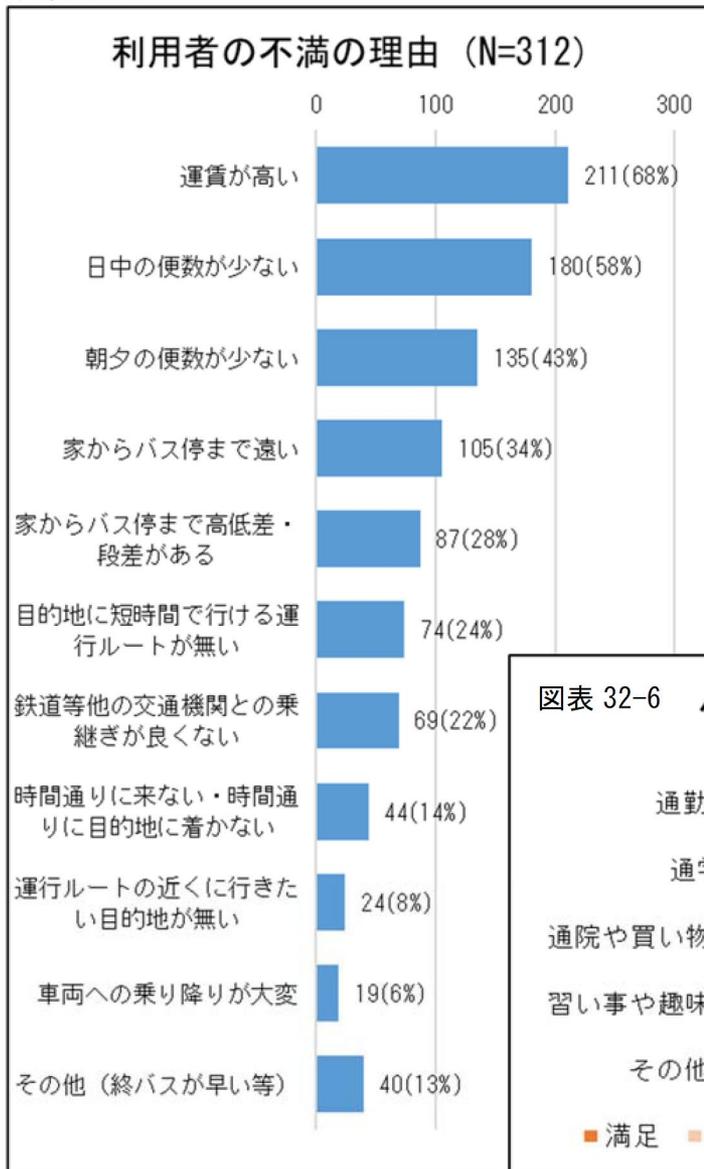


図表 32-3

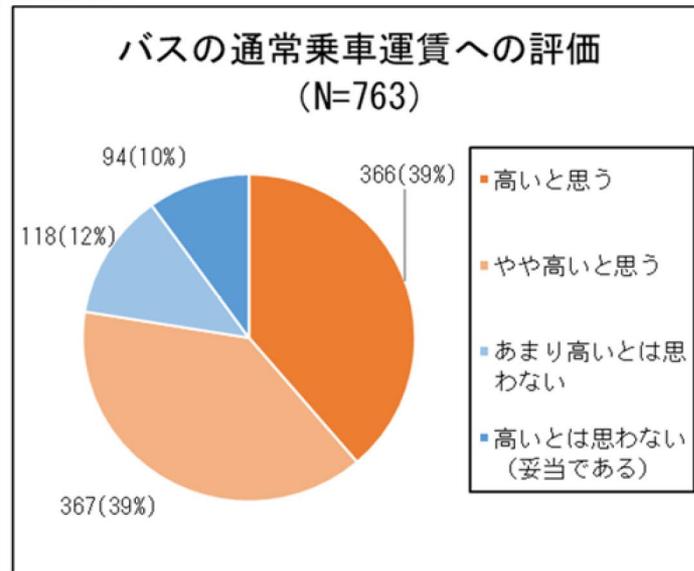


出展:あすか野地区における生活環境に関するアンケート調査
令和2年3月報告書
国土交通省国土技術政策総合研究所・あすか野自治会

図表 32-4



図表 32-5



図表 32-6 バスの利用目的別の利用満足度

